

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>再編後の学校数について、旧大和町地区は6校が一緒になる。6校を1校に統合する地区は他にないが、統合後の生徒数は他の地区と比べてどうなのか？</p> <p>通学範囲を考えると、3校ずつでの統合が良いのではないかと。確かに生徒数を見ると6校統合はやむを得ないかと思うが、通学範囲が広すぎて小学生が通学するには大変だと感じる。</p>	<p>旧大和町地区の再編は6校の統合であり、学校数としては最も多い。次に多いのは、旧三橋町地区の5校統合である。児童数については、(仮称)大和小は令和4年度で654人、令和10年度で485人。学級数は、1学年3～4クラス。(仮称)三橋小は令和4年度で893人、令和10年度で801人。学級数は、1学年4～5クラス。(仮称)大和小は6校統合して、当面の間は1学年3クラスを維持できるが、令和10年度には2クラスの学年が出てくるかもしれないという規模感である。旧大和町地区では6校統合することで、望ましい適正規模を実現できる見込みであることから、今回の計画案を策定している。</p> <p>通学範囲については、現状の学校配置が適正の広さであり、再編後の区域を見ると、確かに旧大和町地区全域はとても広い。旧三橋町地区においても、5小学校が1つに統合することで、同様に区域が広がる。そのため、スクールバス等で通学距離の問題をカバーしつつ、適正規模を実現したいと考えている。また、3校ずつでの統合の場合、それぞれ1学年1～2クラス維持できるかという学校になる。6校統合でなければ、小学校の適正規模の実現が難しい。</p>
2	<p>学校跡地の活用と関連して質問する。少し前に、大和小の敷地内に消防格納庫が建てられた。今回の学校再編にかかる検討委員会は、令和2年度から始まったのか？その時点では、消防は小学校が統合されるということを知らなかったようだが、情報共有はされていたのか？立派な桜の木を切って格納庫を建てたため、地元から多くのクレームが出た。</p>	<p>順を追って説明する。まず令和2年度の適正規模・適正配置化検討委員会の段階では、どの学校を統合し、どの学校が残るといった話はしていなかったが、この検討委員会で学校再編が検討されているということは消防にも共有されていた。このような状況の中、消防格納庫の改築が必要となり、地元との協議等に対応するので、学校用地の一部を譲って欲しいとの申し入れを消防から受けた。その後、現在の消防格納庫が建っている位置に建設したいとの話があったため、こちらが了承した形。その後、地元等から様々な話があったことは承知しているが、学校再編の支障になる問題とは認識していない。</p>